



各位

2021年11月2日

上場会社名 アマテイ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 佐藤 亮
 コード番号 5952 (東証第二部)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 川上 剛司
 (TEL: 06-6411-1236)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月10日に公表した業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2021年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	2,500	40	30	20	1円70銭
今回修正予想(B)	2,457	△6	△12	△38	△3円30銭
増減額(B)-(A)	△43	△46	△42	△58	—
増減率	△1.7	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	2,195	7	△0	△11	△0円95銭

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	5,100	90	70	40	3円40銭
今回修正予想(B)	5,400	42	25	10	0円85銭
増減額(B)-(A)	300	△48	△45	△30	—
増減率	5.9	△53.3	△64.3	△75.0	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	4,401	30	17	4	0円36銭

2022年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2021年4月1日～2021年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	1,900	15	10	5	0円42銭
今回修正予想(B)	1,825	△53	△57	△62	△5円31銭
増減額(B)-(A)	△75	△68	△67	△67	—
増減率	△3.9	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	1,677	△16	△21	△23	△1円96銭

2022年3月期通期個別業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	3,850	30	20	10	0円85銭
今回修正予想(B)	4,150	△22	△35	△26	△2円21銭
増減額(B)-(A)	300	△52	△55	△36	—
増減率	7.8	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	3,399	△8	△20	△16	△1円44銭

2. 修正の理由

2022年3月期第2四半期(累計)の業績は、建設・梱包向(個別)においては、新型コロナウイルス感染症がワクチンの普及により鎮静化しつつあり、経済活動も正常化に向っている環境下で新設住宅着工戸数が増加に転じ、出荷数量は増加したものの、仕入価格の上昇幅が当初計画策定時の見込みを大きく上回る状況となっており、販売価格の値上げ改訂が難航しているため減収となる見込みであります。営業損益・経常損益・四半期純損益は、生産性向上の効果による製造コストの低減を図ったものの、鋼材や海外商品の価格上昇により収益を圧迫し損失となる見込みであります。

一方、電気・輸送機器向においては、自動車メーカーの堅調な生産に牽引され、業績は順調に推移したため、売上高は増収、営業利益・経常利益・四半期純利益は増益となる見込みであります。

以上の結果、売上高は減収、営業損失・経常損失・親会社株主に帰属する四半期純損失となる見込みであります。

2022年3月期通期の業績は、建設・梱包向(個別)における売上高は、更なる販売量拡大と販売価格の値上げに努め、増収となる見込みであります。利益面では、前述で述べたとおり鋼材の価格上昇の影響、また、海外商品の大幅な価格上昇が収益を圧迫し続けているため、今後も製造コストの低減、固定費を始めとする経費の新たな削減活動に着手していく方針ではありますが、営業利益・経常利益・当期純利益は減益となる見込みであります。

一方、電気・輸送機器向においては、自動車メーカーが大幅な減産を発表しており、また、鋼材価格の値上げが本格化していくため、収益は圧迫されることも予想されますが、売上高は増収、営業利益・経常利益・当期純利益は増益となる見込みであります。

以上の結果、2022年3月期通期連結業績予想の修正については、前回予想と比べて増収・減益となる見込みであります。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

3. 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	0.00	1.00	1.00
今回修正予想	0.00	0.50	0.50
当期実績	0.00		
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	—	0.50	0.50

4. 修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を経営の重点政策のひとつと位置づけておりますが、2022年3月期第2四半期の業績及び2022年3月期通期の業績予想を勘案しました結果、誠に遺憾ではありますが、2022年3月期の期末配当金を1株当たり0.50円に修正することといたしました。

以上